

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

475

ふりがな 氏名	くろさわ とおる 黒澤 徹					
所属先	所属先名称	合同会社AMAC				
	役職名	専門員				
専門分野	<p>捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 地域合意形成</p> <p>野生動物管理（生息調査含む） 処理（焼却・減容化）</p> <p>利活用（食肉利用等）</p> <p>その他（被害防止計画立案、鳥獣被害対策実施隊制度整備・運用支援、害獣の生態等指導、被害状況・周辺環境調査、施策提言・コンサルティング、子供向け環境教育、獣害対策を通じた地域振興・ツーリズム）</p>					
対象鳥獣	<p>シカ イノシシ サル クマ（ツキノワグマ・ヒグマ）</p> <p>ハクビシン アライグマ アナグマ</p> <p>カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ</p> <p>その他鳥獣（キョン）</p>					
対応可能地域	<p>全国 北海道 東北 関東 北陸 東海</p> <p>近畿 中国 四国 九州 沖縄</p> <p>その他※特定の都道府県、地域（ ）</p>					
免許及び資格	<p>狩猟免許（銃：取得年 平成29年、 わな：取得年 平成29年、網：令和元年）</p> <p>鳥獣保護管理（ ）</p> <p>鳥獣保護管理士（準1級）（ ）</p> <p>その他（シカ捕獲認定レベル1（DCC1）、（社）日本山岳ガイド協会認定山岳ガイド、鳥獣保護管理員（千葉県）、自然公園指導員（環境省））</p>					

⑫活動実績	
活動期間	①平成30年5月～令和3年5月 ②平成31年11月～令和3年5月
地域	①千葉県安房郡鋸南町 ②千葉県各地・愛知県豊田市・群馬県太田市・茨城県久慈郡大子町・茨城県石岡市
対策の種類 ※該当に○を記入	<p> <input checked="" type="checkbox"/>捕獲手法 <input checked="" type="checkbox"/>侵入防止技術 <input checked="" type="checkbox"/>周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/>地域合意形成 <input checked="" type="checkbox"/>野生動物管理（生息調査含む） <input checked="" type="checkbox"/>処理（焼却・減容化） <input checked="" type="checkbox"/>利活用（食肉利用等） <input checked="" type="checkbox"/>その他（被害防止計画立案、鳥獣被害対策実施隊制度整備・運用支援、害獣の生態等指導、被害状況・周辺環境調査、施策提言・コンサルティング、子供向け環境教育、獣害対策を通じた地域振興・ツーリズム） </p>
対象獣種 ※該当に○を記入	<p> <input checked="" type="checkbox"/>シカ <input checked="" type="checkbox"/>イノシシ <input checked="" type="checkbox"/>サル クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） <input checked="" type="checkbox"/>ハクビシン <input checked="" type="checkbox"/>アライグマ アナグマ <input checked="" type="checkbox"/>カラス <input checked="" type="checkbox"/>カモ <input checked="" type="checkbox"/>ヒヨドリ <input checked="" type="checkbox"/>スズメ <input checked="" type="checkbox"/>ムクドリ <input checked="" type="checkbox"/>その他鳥獣（キョン） </p>
活動の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 捕獲、防除それぞれに偏らない対策の必要性について助言。 2. 箱わなによる幼獣のみの捕獲のデメリットや、群れごと捕獲する効率性の助言及び技術指導。 3. 獣種に対応した電気柵の正しい施工技術について指導。ダミー柵のデメリットについて助言。 4. 捕獲効率アップのための箱わな、くくりわなによる捕獲技術指導。 5. 銃猟との役割分担で強化される捕獲体制と捕獲効率についての指導。 6. 捕獲体験（狩猟）、野生動物の利活用（解体体験やジビエ利用）などの狩猟・獣害対策体験ツアーの企画運営やツーリズムについての助言。 7. 捕獲後の処理について、減容化のための埋設施設施工指導や運用アドバイス。 8. 鉄砲が使用できない状況での安全な止めさし技術指導。電気止めさし器の運用技術指導。 9. 協議会や捕獲のための組合など地域ぐるみの体制作りの手法についての助言。 10. 鳥獣被害対策実施隊制度の運用支援及び助言。 11. 捕獲監視システム（ICT機器等）の運用方法についての助言、指導。 12. 狩猟防犯員（猟友会）として違反捕獲行為について指導。 13. 鳥獣保護管理員（千葉県）として違反捕獲行為について指導。 14. 集落柵施工や保守管理が可能な体制作りについて助言。 15. 非農家さんや住宅集中地域居住者の野生動物との遭遇に際しての注意や対処について助言。 16. 小学生高学年向けに野生動物や獣害対策を含む環境教育プログラムの実施を通じて指導。 <p>これらを行政による支援のもと、集落環境診断会などを通じて直接地域住民（被害を被っている農家、非農家等）にお伝え（助言、アドバイス、指導、相談）した。また、狩猟や獣害対策をテーマとした都市住民との交流事業を通じて担い手確保やコミュニティ機能の向上のための助言を行った。</p>